

平成 21 年度共同利用実施報告書(研究実績報告書)

1. 共同利用種目 (該当種目にチェック)

- 特定共同研究(A) 特定共同研究(B) 特定共同研究(C) 一般共同研究
 地震・火山噴火予知研究 施設・実験装置・観測機器等の利用
 データ・資料等の利用 研究集会

2. 課題番号または共同利用コード 2009 - A - 07

3. プロジェクト名、研究課題、集会名、または利用施設・装置・機器・データ等の名称

和文: 地震・火山現象に関するデータベースの構築英文: Development of database for Earthquake and Volcano4. 研究代表者所属・氏名 東京大学地震研究所・佐竹 健治(地震研究所担当教員名) 佐竹 健治

5. 利用者・参加者の詳細 (研究代表者を含む。必要に応じ行を追加すること)

氏名	所属・職名	利用・参加内容または 施設,装置,機器,データ	利用・参加期間	日 数	旅費 支給

6. 研究内容 (コンマ区切りで3つ以上のキーワードおよび400字程度の成果概要を記入)

キーワード:

日本付近の過去の大地震について、古い地震記象や津波記録、測地記録などの所在情報とそのスキャンデータのデータベース化を行い、研究者が必要なときに迅速に利用できるようなシステムの構築を行う。

7. 研究実績報告

平成 21 年度においては、地震研究所和歌山観測所に保存されている過去の地震記録について、所在情報を EXCEL ファイル化し整理するとともに、伊勢(1968 年)・七川(1969 年)・生石山(1968 年)・和歌浦(1968 年)の 4 観測点分のペン書き記録約 2700 枚について ZOOMA 化を実施した。ZOOMA とは、重たい画像データを高速にインターネット配信できることが特徴であり、その仕組みは、画像データを複数の解像度ごとに持ち、かつメッシュ状に分割し画面表示に必要なだけのデータをサーバから取ってきて表示することにより実現している。また、配信用のシステムを必要としないので、作成されたデータファイルを Web サーバにアップロードするだけの画像フォーマットとなっている。今回 ZOOMA 化された和歌山の古い地震記録が高解像度から低解像度まで高速に閲覧可能であることを確認するとともに ZOOMA がこのような古い地震記録の配信に有効であることがわかった。

<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/zooma/> データベースの公開、謝辞に記載有、ポイント 5